

The cover features a large circular graphic with a dark blue background. Inside the circle, there is a glowing blue sphere with a hexagonal grid pattern, resembling a molecular or atomic structure. The sphere is surrounded by various technical and scientific symbols, including a DNA helix, a microscope, and a gear. The text "ULVAC REPORT" is centered in white, bold, sans-serif font.

ULVAC REPORT

第119期 中間報告書 2022年7月1日 ▶ 2022年12月31日

ULVAC

証券コード：6728

未来につながる「可能性の場」で

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期（第2四半期連結累計期間）における当社グループを取り巻く事業環境は、半導体業界では、スマートフォンやパソコンなどの需要減速に伴い半導体製造装置の設備投資計画を見直す動きがみられました。エレクトロニクス分野では、グリーンエネルギー化・EV化進展等に伴うパワーデバイス投資、スマート社会の実現に向けた各種電子デバイス投資や中国の国産化投資が引き続き活発でした。フラットパネルディスプレイ（FPD）業界においては、前年度、活発化したタブレットやパソコン・車載用などITパネル用液晶投資の反動減の影響がありますが、スマートフォン、タブレットなどの液晶から有機ELへのシフトに対応した大型基板の有機EL投資が今後増加することが期待されています。また、EVバッテリーの小型大容量化、安全性向上実現に向けた取り組みもみられます。

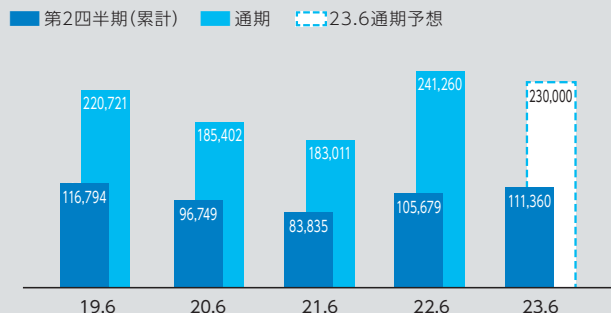
このような状況において、当第2四半期連結累計期間につきましては、受注高は1,291億10百万円（前年同期比154億64百万円（10.7%）減）、売上高は1,113億60百万円（同56億81百万円（5.4%）増）となりました。また、損益につきましては、営業利益は104億65百万円（同9億47百万円（8.3%）減）、経常利益は117億79百万円（同2億66百万円（2.2%）減）と



代表取締役社長
岩下 節生

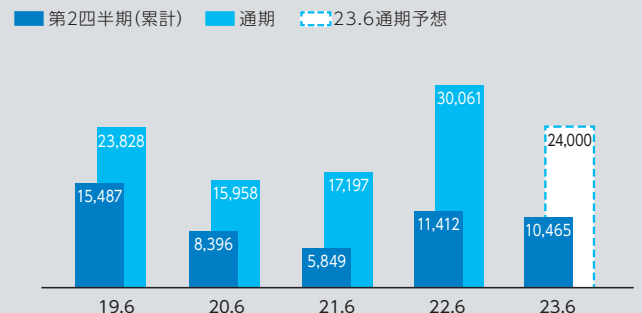
連結業績ハイライト

売上高（単位：百万円）



※記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。

営業利益（単位：百万円）



あり続けるために、未知のことに挑戦し新たな価値を創造します。

なり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、93億34百万円（同11億99百万円（14.7%）増）となりました。

なお、FPD製造装置・マテリアル等の受注高減少及び部品長納期化の影響で売上高及び営業利益の減少が見込まれることから、通期の連結業績予想の見通しを修正いたしました。また、当社の配当政策は、業績連動型配当を基本としており、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向30%以上を目処としているため、通期連結業績予想の修正に伴い、期末配当予想につきましては、1株当たり123円（期初予想141円）いたしました。

当社グループは、昨年創立70周年を迎えました。この70周年の節目に、10年後に向けた長期ビジョン（Vision2032）を定めました。それは、未来につながる「可能性の場」であり続けるというものです。ここで言う「可能性の場」とは、一人ひとりの心の余白を意味しています。心の中に余白の部分を持つことで、私たちは外の世界に目を向け、多くのことを吸収し、未知のことに挑戦し新しい何かを生み出していくことができます。そして、そのような人財が集まった当社グループが「可能性の場」となり、ステークホルダーとの共創を通じて地球的課題解決に貢献するイノベーションや価値ある技術や製品を生み出す源となります。

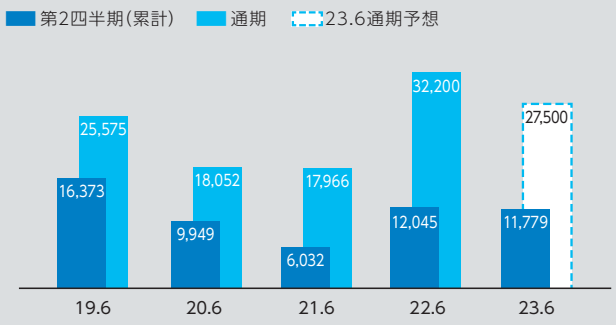
Vision2032に掲げる「可能性の場」であり続けるため、次の4つのマテリアリティ（重要課題）を定めました。

- 真空技術をコアとしたイノベーションの創出・共創の推進
- 多様な人財の育成と活躍推進・レジリエントな組織づくり
- バリューチェーンにおける人権尊重・責任ある行動
- 持続可能な地球環境への貢献

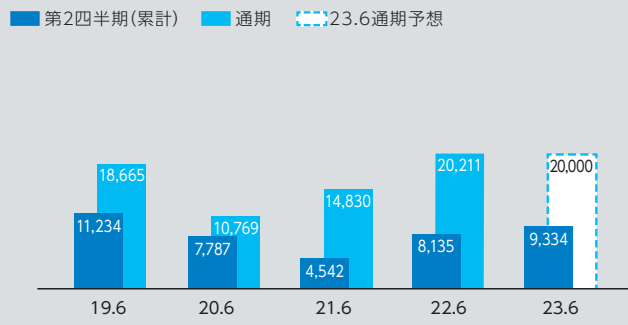
当社グループは、顧客や様々な企業、大学などとの共創を通じてイノベーションを生み出し、真空技術をコアとする次世代技術で新規事業・新市場の創出を目指してまいります。このために、未来を見据え、国を越え、様々な立場の視点で考えることのできる人財の育成と、高い機動力・応変力を持つ組織へ変革してまいります。また、当社グループにとって、バリューチェーンにおける人権尊重や責任ある行動は企業にとって不可欠な行動であり、真空総合メーカーとして、持続可能な地球環境への貢献に向けた取り組みも進めていきます。

2023年度からは新しい中期経営計画期間も始まります。株主の皆様には、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益（単位：百万円）



ココニモ、アル。

ULVACの真空技術

● 事業分野

半 半導体製造装置 電 電子部品製造装置 F FPD製造装置 一 一般産業用装置 コ コンポーネント 材 材料

AI 高度・高速情報処理技術が作る**人工知能(AI)**は、労働力不足の解決や業務効率化、顧客への提供価値の向上を期待されています。この技術革新を支える**半導体**や**電子部品**の製造に真空技術が使われています。

病院 これまでは限られていた医療アクセスもIoT技術の発達や高精度ディスプレイを介した質の高い**遠隔医療**が受けられるようになりました。また**ワクチン**の製造や**無菌製剤**の研究開発など高まる医療のニーズにも真空技術が使われています。

データセンター テレワークの導入拡大やビッグデータの保存など、通信量拡大への対応として需要が急増している**データセンター**。そこに使われている**半導体メモリ**、**ロジック半導体**、**パワーデバイス**や**電子部品**の製造に真空技術が使われています。

電動車 カーボンニュートラルの実現に向け、走行中の二酸化炭素(CO₂)の排出量を削減するため自動車の「脱ガソリン化」への加速が進んでいます。EV車などの**電動車**で使用される**パワーデバイス**・**電子部品**・**高性能バッテリー**・**高性能磁石**などの製造に真空技術が使われています。

真空遮断器 先進国におけるインフラの老朽化や新興国の産業インフラ整備が課題となっています。受変電設備にある**真空遮断器**・空調設備の**熱交換機**などの性能向上等を通じて安全・安心で快適な整備にも真空技術が使われています。



ULVACの経営基本理念は「真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す」です。製造装置メーカーであるULVACの製品を一般の方々が見る機会はほとんどありませんが、真空技術や装置を使って作られる製品は、人々の暮らしと密接なつながりを持っています。私たちは真空技術により、これからも社会から必要とされる企業であり続けます。

風力発電

地球環境に対して負荷が少なく、枯渇する心配のない再生可能エネルギー。その象徴である風力発電に使用されているパワーデバイスや発電用高性能磁石などの製造に真空技術が使われています。

半
電
材
一

スマートホーム

IoTやAIなどの技術によって家を快適化するスマートホーム。今後の普及拡大が期待されています。これらを構成する半導体・電子部品・ディスプレイの製造には真空技術が使われています。

半
電
材
F

フリーズドライ サプリメント

食料の廃棄やフードロスの削減が課題になっている一方で世界では深刻な食糧問題があります。食品のフリーズドライ化や栄養補助食品のサプリメント製造など食品分野においても真空技術が使われています。

一
コ

ドローン

農業の人材不足が問題視される現代においてドローンを利用した「スマート農業」が注目されています。ドローンを構成する半導体・電子部品・バッテリーの製造に真空技術が使われています。

半
電
材

太陽電池

再生可能エネルギーの主力として注目が集まり、普及が進んでいる太陽電池発電設備。そのシステムに使われている制御用パワーデバイスの製造に真空技術が使われています。

電
材
F

韓国Technology Center PYEONGTAEK建設

半導体事業における研究開発投資の一環として、ULVAC KOREA, Ltd.においてTechnology Center PYEONGTAEKを建設することを決定しました。

Technology Centerは、顧客の近くで製品・技術開発を加速し、コラボレーションと技術サポートを強化することを目的としています。

半導体事業を今後の成長の柱として位置づけており、今後も更なる成長を目指して積極的な研究開発投資を継続します。

Technology Center PYEONGTAEK概要

住 所：京畿道 平澤市 靑北邑 栗北里1029
(ULVAC KOREA, Ltd.と同工業団地内)
着 工：2023年 3月予定
竣 工：2024年 3月予定
敷地面積：約11,550㎡
建屋面積：約13,168㎡(クリーンルーム面積：約2,008㎡)
投資金額：約60億円



統合レポート「ULVAC VALUE REPORT 2022」を発行

持続的成長と企業価値向上に向けた当社の1年間の取り組み、中長期的に目指す姿、経営姿勢を総括し、「ULVAC VALUE REPORT」として発行しています。2022年版を当社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



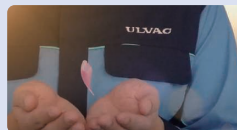
<https://www.ulvac.co.jp/sustainability/report/index.html>

Vision 2032策定

～未来につながる「可能性の場」であり続ける～

マテリアリティ公表

- 真空技術をコアとしたイノベーションの創出・共創の推進
- 多様な人財の育成と活躍推進・レジリエントな組織づくり
- バリューチェーンにおける人権尊重・責任ある行動
- 持続可能な地球環境への貢献



▶ Vision 2032 詳細動画

「可能性の場」



会社データ / 株式の状況

会社概要 2022年12月31日現在

商号	株式会社アルバック ULVAC, Inc.
商標	ULVAC
本社	神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
設立	1952年8月23日
資本金	20,873,042,500円
従業員数	1,720名(連結6,238名)

役員 2022年12月31日現在

代表取締役社長	岩下 節生
取締役副社長	本吉 光
専務取締役	白 忠烈
取締役(社外)	西 啓介
取締役(社外)	内田 憲男
取締役(社外)	石田 耕三
取締役(社外)	中島 好美
監査役(常勤)	伊藤 誠
監査役(常勤)	齋藤 一也
監査役(社外)	浅田 千秋
監査役(社外)	宇都宮 功
常務執行役員	島田 鉄也
常務執行役員	青木 貞男

上席執行役員	佐藤 重光
上席執行役員	近藤 智保
上席執行役員	萩之内 剛
執行役員	蔡 有哲
執行役員	衣川 正剛
執行役員	曾 正明
執行役員	鄒 弘綱
執行役員	高橋 信次
執行役員	清水 康男
執行役員	山口 堅二
執行役員	申 周勲
執行役員	金 善吉
執行役員	清田 淳也

株式の状況 2022年12月31日現在

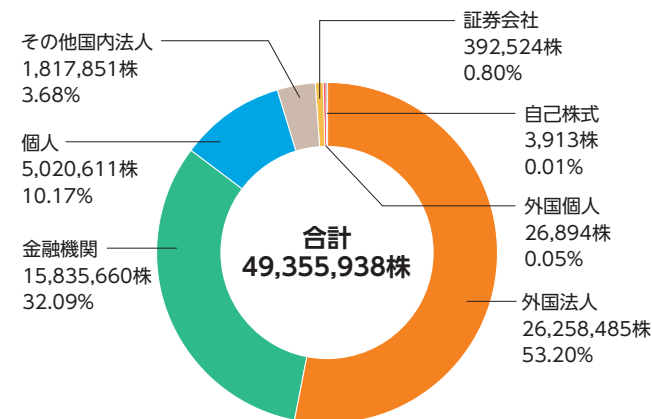
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	49,355,938株
株主数	12,972名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,715	13.61
日本生命保険相互会社	3,242	6.57
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS-GLOBAL TECHNOLOGY POOL	3,188	6.46
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,090	6.26
TAIYO FUND,L.P.	2,549	5.16
GOVERNMENT OF NORWAY	1,478	2.99
TAIYO HANEI FUND,L.P.	1,170	2.37
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/25 JASDEC SECURITIES/UCITS ASSETS	1,108	2.25
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505227	1,032	2.09
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505038	784	1.59

(注)持株比率は自己株式(3,913株)を控除して計算しております。

所有者別株式数



株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	9月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 6月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL.0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土・日・休日を除く)

住所変更など諸手続のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。三井住友信託銀行株式会社への
手続用紙(住所変更・買取請求・配当金振込指定など)のご請求
ホームページアドレス
<https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/>

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金のお受け取り方法について

配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様には、確実に配当金をお受け取りいただける預金口座や証券会社の口座への振込みによる配当金のお受け取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

IRカレンダー

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	第2四半期 決算発表			第3四半期 決算発表			通期 決算発表		定時株主総会		第1四半期 決算発表



ウェブサイトのご案内

① 企業情報はこちら <https://www.ulvac.co.jp/>



② IR情報はこちら <https://ir.ulvac.co.jp/ja/ir.html>



本事業報告書に記載されている当社の現在の計画・戦略及び予測については、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因により本事業報告書の内容とは異なる可能性のあることをご承知おきください。

ULVAC 株式会社アルバック

本社・工場
〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
TEL.0467-89-2033

